

事務事業チェックシート

評価年度	H24	H25	H26	対象外
		○		

事務事業No 662 事業名 教育調査研究事業

[事業基本情報]

分野別目標	5	子どもが輝き、文化が薫る教育のまち
政策	1	学校教育の充実
施策	1	学校の教育力の充実
取組	2	教育研究の推進

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費
	その他		
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務
	その他		
会計・予算区分	会計		一般会計
	款		教育費
	項		教育総務費
	目		教育研究所費
	大事業		教育研究所事業
	事項		教育調査研究事業

事業種別	継続	主な事務事業	○
事業期間		～	
事業実施の根拠法令			
関連個別計画			
担当課・担当課長 (Tel)	教育研究所	西川 厚子 (435-1192)	
関連課			

「3つのキーワード」との関連性

いのちを守る	人と文化を育てる	ふるさと力を高める	該当せず
	○		

1 事業概要及び実施内容

事業目的 (「誰・何」をどういう状態にする) ための事業か)	事業内容					
事業概要	<p>・優れた教育活動を展開する教員を教育研究所員に任命し、教育の諸課題について実践的研究を行い、その研究成果を普及させることにより学校教育の充実と発展に資する。</p> <p>・個人並びに学校・グループの教育研究を奨励し、和歌山市の教育水準の高揚を図る。</p> <p>・子どもたちが郷土和歌山に誇りと愛着を持つように、小学校3年生社会科副読本を毎年、改正を加えながら作成する。</p>					
実施内容	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	
	平成18年度より研究紀要を和歌山市情報教育ネットワーク「きいねっと」に掲示している。また、平成18年度から平成20年までの研究紀要と教育論文をまとめたCD-ROMを23機関と和歌山市の幼・小・中・高の学校へ配布した。また「わたしたちの和歌山市」を52小学校の3年生に配付した。	平成18年度より研究紀要を和歌山市情報教育ネットワーク「きいねっと」に掲示している。また、平成21年度分の研究紀要と教育論文をまとめたCD-ROMを28機関と和歌山市の幼・小・中・高の学校へ配布した。また「わたしたちの和歌山市」を52小学校の3年生に配付した。	平成18年度より研究紀要を和歌山市情報教育ネットワーク「きいねっと」に掲示している。また、平成22年度分の研究紀要と教育論文をまとめたCD-ROMを40機関と和歌山市の幼・小・中・高の学校へ配布した。また「わたしたちの和歌山市」を52小学校の3年生に配付した。	平成18年度より研究紀要を和歌山市情報教育ネットワーク「きいねっと」に掲示している。また、平成23年度分の研究紀要と教育論文をまとめた冊子を23機関と和歌山市の幼・小・中・高の学校へ配布した。また「かがやく和歌山市」を53小学校の3年生に配付した。	平成18年度より研究紀要を和歌山市情報教育ネットワーク「きいねっと」に掲示している。また、平成24年度分の研究紀要と教育論文をまとめたCD-ROMを23機関と和歌山市の幼・小・中・高の学校へ配布する。また「かがやく和歌山市」を53小学校の3年生に配付する。	平成18年度より研究紀要を和歌山市情報教育ネットワーク「きいねっと」に掲示している。また、平成25年度分の研究紀要と教育論文をまとめたCD-ROMを23機関と和歌山市の幼・小・中・高の学校へ配布する。また「かがやく和歌山市」を53小学校の3年生に配付する。

2 事業コスト

	平成21年度		平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度	
	予算	決算	予算	決算	予算	決算	計画	決算	計画	決算
事業費	2,356	2,285	2,486	1,778	2,223	2,355	2,961	2,843	2,489	
伸び率 (%)	-	-	5.5%		-10.6%		33.2%		-15.9%	
人件費	常勤職員	10,803	4,594	6,611	6,611	4,360	4,360	5,164	5,164	
	非常勤職員		87	1,737	1,737	404	404	181	181	
	小計	10,803	4,681	4,681	8,348	8,348	4,764	5,345	5,346	
国庫支出金										
県支出金										
市債										
その他										
一般財源 (税等)	2,356	2,285	2,486	1,778	2,223	2,355	2,961	2,843	2,489	
所要人数	常勤職員	1.41	0.6	0.6	0.88	0.88	0.58	0.7	0.7	
	非常勤職員		0.19		0.42		0.16	0.16	0.09	0.09
主な予算内訳	顧問報酬120 (千円)、非常勤職員社会保険料負担金1 (千円)、管外出張旅費150 (千円)、市内出張旅費360 (千円)、消耗品費9 (千円)、食糧費2 (千円)、印刷製本費1,710 (千円)、機械等借上料70 (千円)、図書購入費60 (千円)									

3 目標及び実績

指標名及び達成状況	平成21年度		平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度	
	年度目標値	実績値	年度別達成度	全体目標達成度	年度目標値	実績値	年度別達成度	全体目標達成度	年度目標値	実績値
活動指標	研究員活動回数	66	66	66	66	66	66	66	66	66
	単位	全体目標値	全体目標達成度	年度別達成度	97.0%	118.2%	115.2%	106.1%	0.0%	
	年度目標値	実績値	年度別達成度							
	単位	全体目標値	全体目標達成度	年度別達成度						
成果指標	研究紀要配布機関	23	25	23	23	23	23	23	23	23
	単位	全体目標値	全体目標達成度	年度別達成度	100.0%	112.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
	副読本作成及び配布数	3,700	3,700	3,500	3,400	3,300	3,400	3,452	3,300	3,300
	単位	全体目標値	全体目標達成度	年度別達成度	98.7%	98.6%	97.5%	101.5%		

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している		横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか	○	達成している(90%以上)		おおむね達成(70~90%未満)	達成していない(70%未満)
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し	○	適正		負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性（担当課評価）

事業内容の方向性	充実			○	
	現状維持				
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	事業は計画通り実施した。今度も、副読本については、子どもの学習がより一層広がるよう見直し、改善を加え、冊子として製本し、学校へ配付することを維持する。
「見直し」「改善」案 ※上記、「今後の方向性」において、「事業内容」、「コスト投入」の方向性が共に「現状維持」以外の場合は記載	研究所員活動は、学校現場へも活動を普及できるよう、広がりを持つ方策を考え、より充実させていく予定である。平成25年度は、例年の実践発表に加え、外部から講師を招き講評をいただくとともに、取組の一層の発展のための助言をいただく。また、参加者を各学校の研究推進の中核を担う教員とし、学んだことを学校に持ち帰り普及に努めていただく。